

当番校からのお知らせとお願い（6月13日）

この週末にコースの下見に入る学校もあると思います。現在のコース概況と入山する場合の注意点を記します。

まず、大会2日目に登るイワオヌプリ、ニトヌプリ、チセヌプリのコースですが、いくつか注意が必要な箇所があります。

①イワオヌプリ登山道

天気が悪いとガス（濃霧）で視界が利かなくなります。登山道は火山岩、火山礫で覆われており、道がはっきりせず迷いやすいので、視界が利かない時は無理をせず、引き返すようにしてください。

②イワオヌプリからコルへ下る地点

スラブ状の岩の表面が崩れ、非常に滑りやすいザレ場になっています。尻餅をついたり、手をつくことも多いと思うので必ず軍手を着用してください。上部の最も滑りやすい斜面には新しく補助ロープを張りました。ザレ場の下りに慣れていない人は使ってください。なお、下部に張ってあるロープは古い物なので、頼らない方が無難です。

③登山道崩落地点（写真1）

ニトヌプリの登りにかかる手前に、沢に流されて登山道が崩落している箇所があります。ここも補助ロープを新しくしました。写真1のあたりからロープを握って崖下に落ちないように注意して下さい。急な泥壁に差し掛かったらロープをしっかり握り、後ろ向きに下りて下さい。支点は2箇所から取っているので安心してロープに頼ってください。写真2はその泥壁を通過したところです。



この部分のロープは二重にして滑り止めのコブや振られ止めも付けてあります。慎重に下れば大丈夫です。

（写真2）

③ニトヌブリの下り

濡れていると滑りやすい岩が多いので慎重に下ってください。

④ニセコパノラマライン峠

ニトヌブリを下りたところはカーブになっていてすぐに渡ると危険です。少し歩いて見通しのよいところで左右を確認してから横断してください。車やオートバイがかなりスピードを出して走っています。

⑤チセヌブリの登り

大きな岩をいくつも越えて登っていきます。ホールド（手がかり）を探して慎重に登ってください。ときどき登山道上に枝が突き出ているので、ザックを引っかけないように注意して下さい。

⑥長沼のほとり

長沼は雪解け水で増水しており、まだ2箇所、登山道が水没している箇所があります。（6/8 現在）1箇所は高巻きの道ができており、もう1箇所は飛び石伝いに渡れます。大会のころにはどちらも水が引いて普通に歩けるようになっていると思います。

大会3日羊蹄山のコースは特に危険な箇所はありません。

なお、羊蹄山避難小屋を使用する場合は、協力金1人300円を小屋の中にあるボックスの中に納めてください。

協力金は、避難小屋の維持管理と羊蹄山の自然保護活動に使われます。今大会ではこの山域と避難小屋を使わせてもらうので、ご理解の上、選手も監督・役員も皆さんも1人300円の協力金の拠出をお願いします。

大会本番では、約160人が山に入るので、1人ひとりがボックスに協力金を入れるとなると行列ができてしまうので、チームごとにまとめて入れていただけると助かります。

避難小屋にはトイレもあり使用できますが、トイレットペーパーはありません。トイレットペーパーは自分で持って行って、使用後はビニール袋に入れて持ち帰ることになっています。バイオトイレですが、紙までは分解できないので、絶対にトイレの中に紙を捨てないようにしてください。

登山者のマナーと、多くのボランティアによって避難小屋や羊蹄山の自然は守られています。ご理解の上、ご協力をお願いします。

当番校 小樽潮陵高校 山納 秀俊